

2025 年度 目白大学公開講座

学生の『学び』のための授業デザインについて考える ～関西国際大学のFDでの取り組みを事例に～

大学教育の質を継続的に高めていくためには、教員一人ひとりが教育の在り方を振り返り、改善を重ねていくことが不可欠であり、FD (Faculty Development) 活動はその基盤を担います。教員が自らの授業実践を見直し、改善を重ねていくだけでなく、教員同士が互いの取組を共有し学び合う文化を育てていくことや、その成果を学部や全学レベルの教育方針と結びつけ、組織的に教育の質向上を図ることも重要です。学生の学習意欲や目的意識が多様化する今日、教員個々の努力に加え、教員組織として協働的に教育の質を高めていく姿勢が求められるなかで、学生にとってより良い学びの環境をつくるための仕組みとして、今まさに「FDの実質化」が求められています。

本講座では、関西国際大学の中畠康二准教授を講師にお招きし、どのように教員の自主的・自律的な取組の支援および学生主体の教育の質的向上を目指していけばよいのかについて、実践的な取組に基づくお話をいただきます。



講 師：^{なかじま}中 畠^{こうじ} 康二 氏
(関西国際大学 評価センター長／社会学部社会学科 准教授)

日 時：2026 年 2 月 6 日 (金)
13 : 00 ～ 15 : 00 (受付 12 : 30 ～)

場 所：目白大学新宿キャンパス 10 号館 9 階大講義室

お申し込み方法

参加をご希望の方は、以下の URL または QR コードから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力して送信してください。
(申し込み締め切り：2026 年 2 月 2 日 (月) まで)

参加費
無料

お申込み：https://bit.ly/mejiro_ex



主催：目白大学高等教育研究所 共催：目白大学 FD 実施委員会

中嶋 康二 氏

熊本大学大学院特任教員を経て2017年より現職。インストラクショナルデザインの知見を活かし、学習意欲向上や学び方の改善、授業設計・eラーニング教材設計を通じて教員を支援する方略の研究・実践を行っている。2020～2024年度は高等教育研究開発センターでオンライン授業支援など全学的な教育上の課題への対応とそれに伴う教育改革の推進を担う。2025年度からは評価センターでIRや自己点検・評価の企画運営を担い、教育理念やミッションに基づく質保証と教育改善を推進し、教育と学習が「学生の将来に活きるもの」となるよう教員を支援する方策をデザインすることを目指している。

主な著書に『情報時代の学校をデザインする：学習者中心の教育に変える6つのアイデア』共訳・共著（北大路書房2018年）、『インストラクショナルデザインの理論とモデル』共訳（北大路書房2014年）、『学習意欲をデザインする』共訳（北大路書房2010年）ほか、多数。



アクセス

- 西武新宿線・都営地下鉄大江戸線
「中井駅」より徒歩8分
※西武新宿線「中井駅」へは「各駅停車」にご乗車ください。
- 都営地下鉄大江戸線
「落合南長崎駅」より徒歩10分
※車椅子等でご来場の場合は、道の起伏が少ない「落合南長崎駅」をご利用ください。
- 東京メトロ東西線
「落合駅」より徒歩12分
※構内に駐車場はございませんのでお車でのご来校はご遠慮ください。

注意事項

本講座は、記録のため録画・写真撮影・録音等をさせていただきます。予めご了承ください。
なお、本講座の映像・音声等を許可なく写真・動画・音声で記録すること、またそれらを第三者に共有・公開することは、ご遠慮願います。

お問い合わせ先

目白大学高等教育研究所
〒161-8539 東京都新宿区中落合4-31-1
✉: kyouiku@mejiro.ac.jp ☎: 03-5996-3187